学部 / 人間科学領域 / 環境の理解
科目コード：110307

人体生化学 Human Biochemistry

担当教員	国門 源量				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	人体の構成元素、化学反応、酸・塩基、化学平衡、濃度				
学習目的・目標	看護専門領域の教科を理解するための基礎として、生化学の知識や考え方を身につけることを目標とする。 高等学校で化学を受講しなかった者は、この教科を選択することを推奨する。				

授業計画・内容

回	内容
	（主な関連科目）
1	人体の構成と必要な化学元素 ⇒ 「人間機能学Ⅱ」
2	元素の単位、原子の構造 ⇒ 「人間機能学Ⅱ」
3	化学結合とイオン ⇒ 「臨床薬理学」
4	生体内化学反応 ⇒ 「人間機能学Ⅱ（酵素、代謝）」
5	酸・塩基とpH ⇒ 「人間機能学Ⅰ」
6	化学平衡 ⇒ 「人間機能学Ⅲ（酸塩基平衡）」
7	濃度の計算 ⇒ 「臨床薬理学（処方箋と調剤）」
8	まとめ

教科書	適宜プリント等を配付
参考図書等	「コンパクト生化学」南江堂、「イラスト 人体の構造と機能および疾病の成り立ち」東京教学社
評価指標	定期試験90%、受講態度10%
関連科目	人間機能学Ⅱ、臨床栄養学、臨床薬理学
教員から学生へのメッセージ	目に見えない物質の構造や働きを理解することは容易ではないが、暗記するのではなく、理解するように心がけて欲しい。